

家庭学習の手引き

小学校での学習は、将来社会人として自立するための基礎となる大切なものです。

そこで、学習内容の確実な定着を目指し、家庭との連携を一層確かなものとするため、家庭学習の手引きを作成しました。

保護者の皆様には、児童と一緒に御覧いただき、家庭学習の充実に御協力をお願いします。

家庭学習を通して育てたい子ども

生活時間の有効な使い方を身に付けた子ども

家庭学習の習慣や方法を身に付けた子ども

基礎的・基本的な学習内容を身に付けた子ども



家庭学習で身に付く「学ぶ力」

「学ぶ力」とは、「もっと調べてみたい」「もし…だと、どうなるのだろう」「なぜだろう」などと、自分で意欲や疑問をもちながら、もてる知識を生かし、見通しを立てて考える力のことです。

家庭学習を毎日続けることで、自分なりの考え方や集中力、学習習慣等が身に付きます。家庭学習の定着は、子どもの学ぶ力を伸ばし、夢やあこがれの実現に向け、目標をもって人生を心豊かに生きる力となります。

「なぜ勉強するのか？」…。それは、子どもが抱く夢やあこがれを実現させるために必要だからです。

さあ、家庭学習の習慣化に向けて、学校・家庭を挙げて取り組みましょう！

今、地道な積み重ねを続けていくことが、子どもたちの将来につながっていくものと考えます。

家庭を「学び」の環境に

子どもの「学ぶ力」は、子どもが一番安心できる家庭で、安定した生活リズムの中で、毎日学習を積み重ねることで一層確かなものとなります。また、家族に認められ励まされることで、「がんばってよかった」という満足感や「見守られている」という安心感を抱き、自分らしさや努力することに自信をもつようになります。

そこで、御家庭では学びの環境を整え、家族の温かい触れ合いを増やすことにより、家庭学習の充実につなげてください。

生活リズムを整え、決まった時刻と場所、
時間で、学習に集中できる環境を！

がんばりを認め、大いに励まし、対話を通した
温かな触れ合いを！

◆はじめに

がくしゅう けいかく 学習の計画

- 学習する場所を決めよう。
 - ・落ち着いて学習できる場所を決めよう。
- 学習する内容を決めよう。
 - ・まず、宿題をすませ、次に、復習や予習に取り組んでみよう。
- 学習がすんだら、次の日の準備をしよう。
 - ・時間割を見て忘れ物がないようにしよう。
 - ・筆箱の中の鉛筆や消しゴムなどもきちんと準備しよう。

つか かた 時間の使い方

- まずは毎日時間を決めて、宿題をしよう。
 - ・学習時間は、15分×学年をめやすにしよう。
 - ・毎日続けて、慣れたら少しずつ時間を増やしていこう。
 - ・一番集中して学習できる時間を見つけよう。
 - ・テレビやゲームの時間を少しけずってみよう。
 - ・休みの日には、学習時間を少し長めにとろう。
- 宿題は、その日のうちにすませよう。

3つのポイント

- ①テレビを消して、学習に集中する。
- ②整理された机の上です。
- ③よい姿勢です。

◆ 1・2年生

【めあて】

まいにち かにていがくしゅう
毎日、家庭学習をがんばる。

がくしゅう じかん
学習時間のめやす
15分～30分

【ポイント】

- ◎ 毎日15分～30分、がんばってべんきょうしましょう。
- ◎ 家に帰ったら、早めにしゅくだいをすませましょう。
- ◎ しゅくだいがおわたたら、きほんのかてい学習をしましょう。
- ◎ べんきょうするときには、テレビをけしましょう。

【きほんのかてい学習】

【音読】

- 国語で学習したところを声に出して、すらすらと読めるようにしましょう。

(「、」や「。」、会話に気をつけて、読んでみましょう。)

【書くこと】

- ひらがな、かたかな、かん字を正しくていねいに書けるようにれんしゅうしましょう。

(書きじゅんやおくりがなに気をつけてれんしゅうしましょう。)

- みじかい文を書いてみましょう。(にっきや作文など)

【読書】

- としょしつでかりた本などを読みましょう。

【算数】

- かずの読みかたや書きかたをれんしゅうしましょう。
- たし算やひき算などのけい算をれんしゅうしましょう。
- かけ算九九をれんしゅうしましょう。
- A1ドリル(キュビナ)をつかってみましょう

【めあて】

みすか かていがくしゅう
自らすすんで家庭学習をする。

じかん
学習時間のめやす
45分～60分

【ポイント】

- ◎ 毎日45～60分、勉強しましょう。
- ◎ 勉強を始める時刻を決めましょう。
- ◎ まず宿題をすませましょう。宿題がおわったら基本の家庭学習をしましょう。
- ◎ できる人は、基本以外の家庭学習にも取り組みましょう。
- ◎ 勉強するときは、テレビを消しましょう。

【基本の家庭学習】

【音読】

- 教科書で学習したところを声に出して、すらすらと読めるまで練習しましょう。
(「、」や「。」に気を付ける。正しく読む。気持ちをこめて読む。)

【書くこと】

- ドリルや教科書をよく見て、正しく漢字を書きましょう。
(書き順や読み方、送りがなに気を付けて書く。)

【算数】

- 計算ドリルや教科書を使って、くり返し練習しましょう。

【基本以外の家庭学習】

- 本を読みましょう。
- 今日学習したことを教科書やノートを使って復習しましょう。
- 新出漢字を使った熟語をノートに書きましょう。
- 日記を書きましょう。
- 自分にあつた問題を数多く練習しましょう。
- ニュースや新聞などから、社会のできごとにも目を向け、自分で感じたことや思ったことを短い文章にまとめましょう。
- 社会や理科で学習したことをノートにまとめましょう。
- AIドリル（キュビナ）を使って学習しましょう。

◆ 5・6年生

【めあて】

予定を立て、自力で学習を進める。

学習時間のめやす
75分～90分

【ポイント】

- ◎ 毎日75～90分、集中して勉強しましょう。
- ◎ 勉強するときは、テレビを消しましょう。
- ◎ まず宿題に取り組みましょう。次に、基本の家庭学習をしましょう。
- ◎ 自分のための勉強です。基本以外の家庭学習にも自主的に取り組みましょう。
- ◎ 家庭学習は、ノートをつくり、色や記号を工夫して分かりやすくまとめましょう。

【基本の家庭学習】

【音読】

- 教科書を音読しましょう。
(「、」や「。」に気を付ける。正しく読む。気持ちをこめて読む。)
- 暗唱、速読、黙読にも挑戦しましょう。
- 短歌、俳句、古典などの作品にもふれ、読み味わいましょう。

【書くこと】

- 書き順や字の形、読み方、送りがなに気を付けて、漢字の練習をしましょう。
- テストやノートでまちがえた漢字を中心に、自主的に練習しましょう。

【算数】

- 教科書、プリント、テストなどでまちがえた問題を、もう一度やり直しましょう。
- 教科書やドリルなどの練習問題をくり返し解いてみましょう。

【基本以外の家庭学習】

- 本を読みましょう。
- 今日学習したことを教科書やノートを使って復習しましょう。
- 新出漢字を使った熟語をノートに書きましょう。
- 日記を書きましょう。
- 少し難しい問題にも挑戦してみましょう。
- 問題づくりをしてみると力がつきます。
- ニュースや新聞などから、社会のできごとにも目を向け、自分で感じたこと、思ったことを短い文章にまとめましょう。
- 社会や理科で学習したことをノートにまとめましょう。
- AIドリル（キュビナ）を積極的に使って学習してみましょう。

毎月の家庭学習を振り返り、「できた…◎、だいたいできた…○、あまりできなかった…△、できなかった…▲」を下の表に書いてみましょう。

